

平成29年度 北海道小学校長会  
第3回理事研修会  
平成30年度  
全連小北海道大会の進捗について  
平成29年9月7日（木）



**【松村 事務局次長】**

第1回準備事務局研修会を8月8日、函館市の八幡小学校において、函館市小学校長会の準備委員12名、道小事務局の準備委員7名、計19名が参加して行った。

協議内容の一つ目は、大会案内・申込要領（いわゆる2点セット）の作成・発送についてである。

函館市小学校長会によって、既に試案が作成されており、11月13日に開催する第2回準備事務局研修会までに完成した原稿を集約して、JTBへ提出する。

そして、JTBが印刷業者へ入稿し、12月中旬までに道小・函小によって校正を終了させ、1月中旬に印刷完了、2月にJTBによって全国へ発送という予定である。宿泊・交通については、JTBが担当、教育視察については、近畿日本ツーリストが担当となっている。

次に、「大会運営要項の作成」についてである。

「大会運営要項」というのは、平成30年度に実行委員会が取り組む業務の細案を綴ったもので、これを見るとすべての動きが分かるという内部資料である。

高知大会の運営要項を参考に目次を設定し、道小と函小とで分担しながら、今年度中の印刷完了を目指す。

次に、「大会宣言文」は、道小が中心となって取り組むこととし、今年度内に、起草委員会の発足、宣言文素案の作成の予定である。

全連小佐賀大会の閉会式における「次期開催地挨拶」については、佐賀の実行委員会から5分間以内として依頼されている。

角野会長が壇上で挨拶した後、バックのスクリーンに函館紹介のDVDを流し、終わりに、北海道の出席者全員が後ろを向いて「よろしくお願ひします」と挨拶するというパフォーマンスを考えている。

後援申請については、全8件のうち、現在、5件から承諾済みの状況である。

函館市小学校長会の準備委員の皆様が、着々と業務に取り組み、具体化しており、今後も、道小事務局と連絡を密にとりながら、協力体制を強化して、計画的に進めていきたいと考えている。

### 【新井 研修部副部長】

来年度の研究発表者並びに分科会における発表地区は、資料のように既に決まっている。例年は、新年度になってから研究発表者の氏名報告をしていただいているが、来年度は全国大会ということもあるので、できるだけ早くから研究発表の準備にとりかかりたいと考えている。については、10月30日までに道小事務所あてにお知らせ願いたい。

